

1. FUNA I文化遺産整備基金への寄附金の募集を開始します

かつて「府内」と呼ばれた大分市中心部は、中世には大友氏の本拠地として、近世には府内藩の城下町として栄え、その繁栄の証ともいえる「大友氏遺跡」や「府内城跡」などの文化遺産が各地に存在しています。

本市では、府内の貴重な文化遺産を過去から現在、そして未来につなげていくため、「史跡大友氏遺跡整備基本計画」ならびに「大分城址公園整備・活用基本計画」を策定し、整備事業を進めています。

今後、これらの事業をより一層推進していくため、市内外からの寄附金の募集を開始します。これにより、官民一体となった歴史を活かしたまちづくりによる令和の「府内再興」の実現を目指します。

なお、個別の文化遺産の整備等を目的とした基金を設置し、広く寄附を募るという取組みは、県内で初めてとなります。

1. FUNA I文化遺産整備基金の概要

FUNA I文化遺産整備基金は、市内中心部に所在する貴重な文化遺産の保存および整備を行う事業に要する経費に充てるために設置しました。

寄附者は、「大友氏遺跡歴史公園整備事業」と「大分城址公園整備活用事業」から用途を選ぶことができます。

なお、当面の整備対象は大友氏館跡の中心建物等と府内城跡の歴史的建造物とし、初年度の目標金額は1,000万円とします。

- | | |
|------|--|
| 募集開始 | 5月2日（月）から |
| 寄附金額 | 1件の申込みにつき、1万円以上 |
| 申込方法 | ①申込書（市ホームページからダウンロード可）に必要事項を記入のうえ、原則、郵送またはメールで文化財課に申込み。
②申込後、市から送付される納入通知書により金融機関にて振込み。 |
| その他 | 寄附された方のお名前を市ホームページ等でご紹介します。（希望者のみ） |

2. 周知方法

市ホームページへの掲載や南蛮BVNGO交流館・歴史資料館等にチラシの設置を行うとともに、大友氏遺跡フェスタや宗麟公まつりなどのイベント会場において周知します。

また、各地の県人会や関係団体に周知を直接依頼します。

【文化財課 内線2093】